

受理年月日	
受理番号	

高エネルギー加速器研究機構
素粒子原子核研究所陽子加速器共同利用実験申請書
Proposal for an Experiment at ISPN, KEK Proton Synchrotron

素粒子原子核研究所長 殿
To: Director, Institute of Particle and Nuclear Studies

実験責任者 Spokesperson	氏名 Name	小林 富雄	印	職名 Position	教授
	所属 Affiliation	東京大学素粒子物理国際研究センター			Phone: 03-3815-8384
	連絡先 Address	文京区本郷 7-3-1		FAX: 03-3814-8806	E-mail: tomio@icepp.s.u-tokyo.ac.jp

下記のとおり、別紙実験計画書を添えて申請します。

課題名 Title	アトラス TGC の実機性能テスト				
希望するシフト数 Beamtime Request	20	シフト shifts	予算配分希望額 Budget Request	0	千円 thousand yen
実験の要旨 Abstract	<p>LHCアトラス測定器において、前後方トリガー・ミュオンチェンバーはヒッグス粒子生成イベント測定の鍵となる検出器であり、耐放射線損傷、高レート耐性、時間分解能等を考慮した Thin Gap Chamber (以降 TGC と略す) が用いられる。アトラス日本グループでは、平成 15 年迄に約 1,100 台の TGC を高エネルギー加速器研究機構、富士実験室にて製作をし、神戸大学にて検査を行なった後 CERN へ輸送する予定である。</p> <p>昨年度から実際の TGC 大量生産設備の整備が始められ、本年 4 月からはこの大量生産設備の試験運転を兼ねた大型 TGC 実機製作を開始している。</p> <p>本実験に於ては、本年度製作した実機 TGC の性能測定をおこない、これまでに検討・開発されてきた生産設備をもちいた TGC 製作方法の正当性の検証を行い、本年度後半より約 3 年間に渡って行われる 1,100 台の TGC 大量生産へのフィードバックを行う。</p>				